

RI D2660

東大阪東ロータリークラブ



HIGASHIOSAKA-EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report 2016-9-8 No.2496

人類に
奉仕する
ロータリー

創立：昭和40(1965)年3月4日

『サービス（奉仕）に感動を』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：芳田至弘 / 幹事：河村幸司 / 会報資料担当：寺西太一

今日の例会

- 卓話
「私とロータリー」
国際ロータリー第2660地区
IM第4組ガバナー補佐
林 芳繁 様
- 今日の歌
「それでこそロータリー」
- 例会後
林ガバナー補佐を迎えての
第3回クラブ協議会

来週の例会予定(9/14)

- 9月14日(水)
東輪会合同例会
登録受付・食事AM11:30～
於：シェラトン都ホテル大阪
4F「浪速の間」
- 9月15日(木) 振替休会

9月は
基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの友月間です。

先週の出席報告(9/1)

先週(9/1)の出席者数：36名(0)

出席率：66.67%

会員：61名(免除7名)

	8/11	8/18	8/25
HC 出席	公休	31(1)名	43(0)名
MU 出席		12(0)名	4(1)名
修正出席率		78.18%	85.45%

会長の時間

芳田会長

本日は林ガバナー補佐・百済ガバナー補佐エレクトの訪問を受け、例会と第3回クラブ協議会です。林ガバナー補佐にはクラブに対する貴重な意見をいただきたいと思っております。会員の皆様、クラブ協議会にご出席をよろしくお願い申し上げます。

9月は基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間です。今日の世界には、教育を受けることが出来ない就学適齢期の子供が5,700万人います。又読み書き出来ない成人は7億7,400万人おり、その3分の2は女性だと言われています。ロータリーでは、[基本的教育と識字率向上]が重点分野の一つとなっており、基本的教育の機会を広げ、読み書き能力を向上し、高等教育への道を広げるためのさまざまな取り組みが実施されています。これらの活動は、貧困地域における教育の向上につながります。識字能力は一人ひとりの能力を向上させるだけでなく、社会的あるいは経済的基盤や民主的な制度を実現していく上で欠くことの出来ない能力です。今回、職業訓練プログラムも行っておりますが、生活の質を向上させるためにも識字能力の向上は必要不可欠であります。

ロータリーの友は今では約9万5000部発行し、日本全国のクラブや会員相互の懸け橋にするために創刊されました。1980年7月に、国際ロータリーの公式地域雑誌に認定されたことで、世界中のクラブやロータリアンと情報を共有し、又国際ロータリーの情報を日本のロータリアンに伝えるという役割が加わりました。時代とともに変遷してきたロータリーの友ですが、日本のロータリアンを対象に編集されております。

9月4日(日)秋の家族会は28名のご参加をいただきました。伊勢志摩ライナーで行く志摩観光ホテル「2016年サミットの舞台」になったレストランでフランス料理をいただき全員で写真を撮り、貸切バスにて伊勢神宮参拝とおかげ横丁の散策をし、好天に恵まれて楽しい1日でありました。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ 302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp



氏 名 林 芳繁
(大阪柏原RC)
生年月日 1945年12月8日
職 業 社会福祉法人 天寿会
特別養護老人ホーム
ひびきの郷

ロータリー歴

1977年10月 大阪柏原RC入会
1982年～83年 幹事
1990年～91年 会長
2006年～07年 IM実行委員長 理事
ポール・ハリス・ソサエティー
米山功労者 (マルチプル)

幹事報告

河村 幹事

本日は、林ガバナー補佐、百済ガバナー補佐エレクト、ようこそお越し下さいました。林ガバナー補佐、本日卓話を宜しくお願い致します。又、例会後のクラブ協議会ではご指導賜ります。宜しくお願い致します。

《これからの予定》

- 【1】本日例会後、林ガバナー補佐を迎えての第3回クラブ協議会
- 【2】9/14 (水) 東輪会合同例会 於：シェラトン都ホテル
- 【3】9/15 (木) 振替休日 (9/14 (水))
- 【4】第1回クラブ社会奉仕委員長会議 (山崎社会奉仕委員長出席)
- 【5】9/22 (木) 祝日・休会
- 【6】9/24 (土) ローターアクト・青少年奉仕正副委員長合同会議 (溝畑地区学友委員長・森本青少年奉仕委員長出席)
- 【7】9/24 (土) RI2660 地区 地区決議会 (芳田会長・大塚副幹事出席)

《連絡事項》

- 【1】9/14 (水) は東輪会合同例会です。場所はシェラトン都ホテル大阪となっておりますので、多数のご参加宜しくお願い致します。
- 【2】2016-17 年度地区大会の参加申込書を配布しております。各自ご記入の上、**9月29日 (木)** までに事務局までご提出をお願い致します。

◎国際奉仕委員会

溝畑委員長

◎ロータリー財団委員会

須崎委員長

2016-2017 年度第1回国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会 合同会議 議事録

日 時 平成28年8月25日 (木) 午後6:00～8:00

場 所 作一 (心斎橋)

出席者 芳田 溝畑 川口 北川 須崎 斉藤

順不同 敬称略

議 題 国際奉仕委員会及びロータリー財団委員会の本年度の活動について

1. 国際奉仕委員会委員長の挨拶及び方針 (活動方針)

ロータリー財団委員会と緊密な連携をもって活動する。当クラブは伝統的に国際奉仕活動を活発に実施してきました。海外姉妹クラブとの交流、姉妹クラブとの共同奉仕プロジェクトの実施、国際大会への参加と、活発に活動しています。

根底にあるのは世界平和への希求です。今こそ国際奉仕事業を強く推し進め、少しでも世界平和の達成に近づけるよう取り組みたいと思います。

(計画と目標)

*姉妹クラブである、タイ・ヤンナワ RC、韓国・ヨチョン RC、あるいは、当クラブ推薦の元財団交際親善奨学生の下西三千恵さんが所属する今カンボジア・プノンペン RC、三宅加余子直前国際奉仕委員長がコンタクトをとったミャンマー・ヤンゴン RC との共同プロジェクトを模索、計画する。

*新たなグローバル補助金を用いたプロジェクトの提唱を模索する。

*ロータリー財団補助金の利用をロータリー財団委員会、社会奉仕委員会とともに検討する。

*国際大会はアトランタで開催される。1917年米国ジョージア州アトランタで開催された第8回国際大会で、当時の会長アーチ・クランプが演説して始まったロータリー財団の100周年の記念大会に参加を募りたい。

希望予算

600,000 円

内訳

プロジェクト 400,000 円

国際大会参加補助 200,000 円

→ロータリー財団委員会と共同して連携して活動することが必須であること、企画としては、元財団奨学生の下西三千恵氏が所属しているカンボジア・プノ

ンペンRCとの共同プロジェクトを模索・計画することが連絡、意思疎通の容易さ等の理由からも最も現実的ではないかという意見に出席者の多数が同意した。

→ロータリー財団100周年の記念大会（アトランタでの国際大会）への参加を呼びかける。旅行オプションとして、例えばキューバ立ち寄り

2. ロータリー財団委員会委員長の挨拶及び方針（活動方針）

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

より良い地域づくりのための活動やグローバルなイニシアティブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。

クラブ内におけるロータリー財団委員会の役割は二面性を持ちます。一つは財団の支援、すなわち財団の寄付を募ること、もう一つは、その資金を使って財団プログラムに参加することです。

① 財団支援

本年度は財団創立100周年の記念すべき年度ですので会員の皆様のなご一層のご理解とご協力をお願いいたします。またできるだけ多くの会員の方から幅広く寄付をお願いしたいと考えておりますのでご協力よろしくおねがいします。

イ、ポリオ撲滅寄付 一人当たり60ドル

ロ、年次寄付 一人当たり160ドル以上

ハ、ベネファクター 一名以上

ニ、ポール・ハリス・ソサエティ、遺言友の会の推奨

② 財団プログラム

グローバル補助金並びに地区補助金に積極的に参加する。

地区補助金は本年度「よろず相談室」で申請する予定です。

→年次寄付は、若手会員を含めて広く、かつ薄く徴求することとし、お願いする。国際奉仕委員会とは緊密に連携して財団プログラムに参加する。

（以上、文責 斉藤 勝俊）

市十郎ER輪の会便り

SAA報告（ニコニコ箱）

ロータリークラブに入会してこの9月で1年となりました。

初めて参加した俳句の会には、昨年のクリスマス会で安徳さんに誘われ、今年1月30日に昭和エコタワー4階で開かれた会です。その初めての句会でごちそうを頂き、俳句をつくり始めました。これまでの私の考えでは、俳句を詠むことは一度も想像していませんで

した。句会のごちそうに酔っていたのか、多様な言葉で、たくさんの景色を創造させる俳句の言葉の魅力を教えていただきました。

独立して事務所をつくるのに合わせて畑も始めたのですが、四季を知るには、微妙な言葉の表現を知ることさらに季節の変化を楽しませてくれるように思います。最近の7月、8月の暑さや気候の違いは、身の回りの草木の変化から言葉を学んでいるようです。ER輪の会の俳人の素晴らしい観察力を楽しんでもいただければと思います。

井戸田 精一

2016年8月 ER輪の会自薦句

立秋や一直線に飛行雲 (邦夫)

立秋や農夫細身の鎌を研ぐ (恵生)

遠ざかりまた近づきて法師蟬 (春正)

孫帰る庭のプールの空気抜く (美保女)

観音の白き落剥秋めける (洋子)

車中泊虫の音独り占めにして (安徳)

マンションの^{あかり}灯 ほつほつ秋立ちぬ (侑才)

揺れる葉をしっかりと掴め赤とんぼ (精一)

流星の如く花火の消へゆけり (正信)

軒下に燕帰りし糞のあと (靖明)

秋の家族会

～伊勢志摩ライナーで行く志摩観光ホテルでのお食事と伊勢神宮参拝～

2016年9月4日（日）

伊勢志摩ライナー車内





伊勢志摩サミット食事会場



志摩観光ホテルでのお食事
美味しい料理に舌鼓



皆様、お疲れさまでした！

